

はな ごえ たよ
話し声を頼りに，とにかく一目散にかけて行きました。そこでケンが目にし
たものは，それはそれは色とりどりの美しい蝶の世界でした。目を凝らして
じっと見てみると，マヤがエルムと一緒にいるではありませんか。

「マヤ！マヤ！ケンだよ！」



おおごえ なんど さけ
大声で何度も叫びました。でも，マヤは気づいてくれません。しかも，ケンが
マヤのいる場所まで行こうと思っても，迷路になっていて簡単に行くことすら
できないのです。ケンは，とても悲しくなりました。でも，あきらめるわけに
はいきません。何かいい考えはないものかと，辺りを見回してみました。する
と，仲間の蝶がやってきて，

「おまえも花の蜜を吸ってみろよ。」

い はな みつ すうてき わ の
と言って，花の蜜を数滴分けてくれました。ケンは「飲むのいやだなあ。」と思
いながらも，「マヤを助けるには仕方ない。」と思い，我慢してその蜜を吸いま
した。すると，あっという間に，ケンはたくましい蝶に変身したのでした。た
くましい蝶に変身したケンは，マヤを見つけるとたやすくそばへ飛んでいくこ
とができました。

